

# 鼓童

2017

Spring

vol. 366

KODŌ

誌面リニューアル第1号

特別寄稿 | 小説家 真山 仁



今号から「季刊」での発行となりました。年4回(5月、8月、11月、2月)お届けいたします。

# ニューヨークの観客の熱狂に

## 国も民族も超越した芸術の光を見た

— 特別寄稿 —

小説家

真山 仁

2017年1月から3月まで全米22都市29公演を行った「打男 DADAN」のアメリカ初公演は、大盛況の内に終わった。そのツアーの目玉と言えるニューヨークBAM公演を振り返る。

(写真 岡本隆史)



現代芸術の聖地であるニューヨークにあつて、ブルックリンのBAM (Brooklyn Academy of Music) は、次世代をリードをする芸術、アーティストが発見できる場所として知られる。フォートグリーンというブルックリン最北部に位置する地区にあるBAMは、ヨーロッパの劇場を思わせる白亜の建物で、教会のステンドグラスを思わせるアーチ型の大きな窓が印象的だ。

このところ、ブルックリンは再開発が進み、リバーサイドは新興高級住宅街としてマンハッタン並みのコンドミニアムが立ち並ぶ。そんな中、BAMがある一帯は、どこか時間を超越した雰囲気を保ち、まさにアメリカの芸術文化を牽引する風格を感じさせる。

鼓童は、既に2年前に「神秘」で初登場を果たし、大好評だった。

BAMで20年間総支配人を務めるジョー・メリロ (Joseph V. Merillo) 氏は、「大ファンだった玉三郎がどんな演出をするのかと注目していたが、想像以上の素晴らしい作品で、さらにファンになった。近年、彼ほどシアトリカル(演劇的など)という意味だが、メリロ氏が言っていたのは、劇場空間を熟知した演劇的醍醐味の極意という意味」と当時を振り返った。今回も、「鼓童の若手の男性メンバーで構成され、よりエネルギーがあふく先鋭的な演奏を期待する「打男」が登場するとあって、公演が待ち遠しかったと期待を膨らませた。





「打男 DADAN」ニューヨーク公演  
2017年3月1日~4日  
会場：ブルックリン・アカデミー・オブ  
ミュージック(BAM)

## 若さと魅せる舞台で

## 鼓童の可能性を広げた集団の今が幕を開ける

「打男」が初演されたのは、2009年だ。後に鼓童の芸術監督に就任する玉三郎が、初演から演出を手がけた。東京・世田谷、ブリックシアターでの初演は、漲る情熱を余すことなく放出しながらも、同時に魅せる舞台の工夫が随所にある画期的なステージだった。

これが玉三郎が鼓童という太鼓芸能集団において目指そうとしている方向性なのかと思つたのを覚えている。

その初演以来、8年ぶりとなる舞台を、まさかニューヨークで観るとは思つていなかった。しかも、北米ツアーの折り返し点の時期での公演だけに、メンバーがアメリカ各地でどんな手応えと刺激を手にしたのかを感じ取れる場としても期待した。

その一方で、鼓童の正規公演と異なり「打男」は、メンバーがどンドン卒業して

いく。実際、初演を経験しているのは、14人中坂本雅幸、一人だけだ。

「僕自身も、北米ツアーが決まる直前に呼ばれて急遽参加することになった。初演の時は、先輩に着いていこうと思つて必死だが、いつのまにか自分が牽引する側になって、まったく別の気分で臨んだ」

ニューヨーク公演終演後、坂本がそう振り返るように、同じメンバーで作品を磨き上げていくのではなく、先輩たちが辿ってきた軌跡を若手が作品を通じて吸収し、その時その時の新しさを披露しているというスタイルも、鼓童には珍しいユニークな舞台だった。連日満員に近い観客を集め、開演前から舞台に期待する観客のムードが高まる中、ステージは始まった。

## いきなり時間と場所を忘我する 舞台上の世界に引きずり込まれた

BAMの観客は、厳しいと言われる。公演中でも、観る価値なしと判断すると席を立つという光景も珍しくない。

そんな中、観客の多くは、食い入るように舞台を見つめているのが印象的だった。

8年という歳月を経て、作品にも様々な創意工夫が加えられていた。

例えば冒頭の演目は、初演時にはなかった。だが、その演目によつて、観客はニューヨークという場所と、現代という時間を超越した特別な時空にタイムスリップする——。これがこそが、玉三郎が目指すシアトリカルな舞台の幕開けに、ささわしい。

それを観た時に、「打男」は常に玉三郎が鼓童で目指そうとした世界観の実験場であり、それが昇華された上で、本公演に生かされてきたのだという実感を持った。



シアトリカルな舞台と簡単に言うが、模式的に作り込むことはさして難しくはない。だが、観客が、時空を飛んで一気に舞台上の世界に引つ張り込まれるような作品を創造するのは至難の業だ。

そのためには劇場空間という密室の特質を理解し、舞台上に立つ者それぞれの気持ちと肉体が、創造的なパフォーマンスをする必要があるからだ。

だが、「打男」はまだまだ成長過程の若者たちの集団だ。若さと情熱はあるが、人間的な奥行きや胸に秘めた思いや感情を創造的に表現する経験値が足りない。

なのに、「打男」のステージはシアトリカルなのだ。

それは、演出家が、若いアーティストが持つ資質を見抜いた上で、それを引き出すための術を知っているからに他ならない。

すなわち、時に演奏者にはそれがどのよう舞台上から放たれているのかを正確に把握できていなくても、玉三郎の指示を愚直に守り、そこに情熱と若さをぶつけることで化学反応が起き、シアトリカルな世界観が出現したのだ。



## 素晴らしい打楽器パフォーマンスだから BAMの観客は熱狂した

玉三郎は鼓童の芸術監督を続けていく上で、「和太鼓奏者」ではなく、打楽器の演奏家として、世界のどこでも通用するアーティストを目指して欲しい」とメンバーに訴え続けた。

「打男」でも、それは徹底されていた。

そのため、伝統芸能としての和太鼓演奏を観客が期待したのであれば、違和感を抱いたかも知れない。

しかし、BAMに集う観客は熱狂した。ライブが進むにつれて、そのボルテージは上がり、フィナーレでは、劇場の観客の全てがスタンディング・オベーションで称えた。

終演後の観客の声を聞いて驚いたのは、和太鼓ファンだから来たと言ふよりは、BAMが面白そうな公演をやるので見に来たら、衝撃を受けたと話す人が多かったことだ。

あきらかに日本とは集まった観客の層が違うのだ。

日本では、太鼓ライブは観客も和太鼓ファンが多い。したがって、お決まりの演目が必要だし、それを承知の上で意外性や衝撃を生む必要もある。

しかし、BAMの観客は、そんな小さなカテゴリーの中で「打男」を観ていない。彼らは、ただ素晴らしい打楽器パフォーマンスに感動し、「さすがBAMが選んだだけはある！」と膝を打ち、日本には面白いアーティスト集団「鼓童」がいると記憶しただろう。

和太鼓を披露するのではなく、素晴らしい



### 真山 仁 JIN MAYAMA

小説家。1962年大阪府生まれ。同志社大学法学部卒業。新聞記者、フリーライターを経て、2004年『ハゲタカ』でデビュー。2007年に『ハゲタカII』を原作としたNHK土曜ドラマが放送され、反響を呼ぶ。経済、政治、農業、エネルギー、震災など、現代社会が抱える問題に光を当てた作品多数。近著に『そして、星の輝く夜がくる』『売国』『バラ色の未来』など。鼓童の芸術監督を務めた坂東玉三郎との交流は20年以上に及ぶ。

い打楽器ライブを堪能してもらおう。それに観客が刺激を受け、劇場に熱狂の風が渦巻く——。まさに、それが芸術ではないか。何度も喝采を受けた若き奏者たちの顔は、本当に晴れ晴れと輝いていた。自分たちの演奏の手応えを強く感じただけでなく、芸術はかくもあつさりと言や民族の壁を超えて、共感が広がっていくのかを肌で感じ取れたからに違いない。

終演後、ジョーに感想を聞いた。  
「言葉は不要だろう」  
そう言っただけでウインクしたBAMの主の目は少年のように輝いて見えた。



鼓童創立35周年記念「打男 DADAN 2017」アメリカ公演は、ANAが協賛しています。

ANA Inspiration of JAPAN  
A STAR ALLIANCE MEMBER

## 菘輪 真弥 み の わ ま や

- Q1. 2008年にブラジルでのサンパウロ公演を観たのがきっかけです。
- Q2. 最近ハマっているというより、常に…可愛い雑貨や食器を探し歩いています。
- Q3. マイペース
- Q4. 打つという根源の魂を奮い立たせ、常に新鮮な気持ちで臨みます。フレッシュな音と安定した音、色々な音色をお楽しみいただけるかと思っています。
- Q5. 元気な笑顔を届けていきたいと思います! 今後とも応援のほど、よろしくお願致します。

## 三浦 康暉 みうら こうき

- Q1. 研修生だった兄の影響で鼓童の舞台を見て(その時は打男でした)、憧れたのがきっかけです。
- Q2. DIY 家の机・棚を作ったりしています。次は何作ろうかな…
- Q3. せっかち
- Q4. 積み重ねられてきたものに対して自分たちはどう向き合うのか、何を大切に太鼓を叩くのか。技術ではないものがこの舞台にはあると思っています。
- Q5. 僕らの暑苦しい想いが込められた舞台です。ぜひ涼しい格好でお越しください。

# 今月の 鼓童メンバー

新しくなった機関誌では毎号、鼓童メンバーの素顔をご紹介します。  
記念すべき第1回目は「若い夏」公演のポスタービジュアルを飾る5人に登場してもらいました。  
飾らない姿や公演にかける想いなどをお聞かせください。



- Q1. 鼓童に入ったきっかけは?
- Q2. 最近ハマっていること、マイブームを教えてください。
- Q3. 自分の性格を一言であらわすと?
- Q4. 「若い夏」に向けて臨む意気込み、見どころを教えてください。
- Q5. 読者の皆様へ向けて一言お願いします。



## 鶴見 龍馬 つるみりょうま

- Q1. アース・セレブレーションの映像で、舞台上で楽しそうに演奏しているプレイヤーを見て「自分もこの中に入って演奏したい!」と思ったのが決定打でした。
- Q2. 最近写真撮ることにはハマっています。今度ゆっくり佐渡を撮りたい。
- Q3. 癖が強いです。
- Q4. まだまだ先輩方には遠く及びませんが、若手である今しかできない「等身大の僕」を見ていただきたいです。
- Q5. 是非「ツルちゃん」と覚えていただけたら嬉しいです!

## 渡辺 健吾 わたなべ けんご

- Q1. 太鼓が大好きで小学6年生の時から叩いていましたが、高校生の時、鼓童の12月公演を初めて見たのがきっかけです。
- Q2. いろんな町の雑貨屋さん、服屋さんに行くこと。
- Q3. 心配性
- Q4. 今までの自分からさらに一歩踏み出し、飾らずシンプルに純粋に打ち込んでいきたいです。
- Q5. まだまだ未熟者ですので、稽古ももっと頑張ります! 応援よろしくお願致します!

## 三浦 友恵 みうら ともえ

- Q1. 太鼓のプロにいつかなりたいと小学生の頃から思っていたから。半纏や着物姿の女性がかっこ良く、憧れを持ったからです。
- Q2. お裁縫。この私が…羽織をリメイク中…。どうなるかわからないんですが、初めてのリメイク楽しんでます! できるかな?
- Q3. ど真面目。いいかげん。
- Q4. 鼓童に来て初めての作曲。好江さんにアドバイス等いただきながら、試行錯誤中です! 女性の演目ですが、自分の憧れた心の強い女性が描ければと思っています。
- Q5. 今回の若い夏は前回と違った若い夏になります。頑張ります!



## 鼓童「若い夏」日本ツアー

2016年に浅草公会堂で初演を迎えた本公演が、2017年、キャストと演目を新たに全国ツアーを開催します。  
5人も活躍する舞台、どうぞお楽しみに!

7月2日~30日 京都市(京都)/浅草(東京)/伊勢市(三重県)/みよし市(愛知県)/黒部市(富山県)/各務原市(岐阜県)/倉敷市(岡山県)/松山市(愛媛県)/久留米市(福岡県)/宮崎市(宮崎県)/鹿児島市(鹿児島県)

詳しい情報は、9ページをご覧ください。 <http://www.kodo.or.jp> 鼓童 Tel. 0259-86-3630

# 演目図鑑 千里馬 ちよんりま

演目図鑑復活！今まで、そしてこれからの鼓童の演目をわかりやすくご紹介します。  
(写真：田中文太郎・岡本隆史)

## 曲について

千里馬は、1983年に藤舎呂悦氏が当時の真野の稽古場に来座。合宿のように泊まり込みながら思いつくフレーズを譜面にし、実際に叩いてみて、書き直しながら完成した曲である。当時は口伝によって稽古していた曲が多く、譜面に慣れていないメンバーはかなり苦心したようだ。日本の伝統的なリズムを組み合わせてあり、一つのフレーズを叩くのにテクニクを要する、とてもスリリングな曲になっている。

また、個人のテクニクだけでなく他のプレーヤーとのつながりがあり、フレーズとフレーズをつなげて叩くので、互いに息を合わせないと一つの曲にならない。前の4人を馬の足にたとえると、足並みを揃えながらも速く走ろうとする、千里馬そのもののイメージだろう。どこかで間がズレると、つまずいてとても千里など走れたものではない。メンバーが変わると呼吸合わせにしばし時間がかかるのはそのため。演奏のミスがわかりやすく、プレッシャーもかかるが、気持ちよく演奏できたときは大きな達成感がある。

研修生の稽古にもよく使われる。テクニクはもちろんだが、演奏者同士の調和を必要とするため、みんなのレベルが同じようにアップしていかなければならない。みんな



で作っていく曲という点でも、重要な曲である。

ちなみに、この「千里馬」という曲名は、作曲者の藤舎氏が命名したのではなく、鼓童初代代表の故河内敏夫が曲の印象から付けた。この曲にはびつたりの名前である。一日に千里を走るといふ名馬の姿を想像しながら聴くと、また違った味わいを感じられるかもしれない。(編集部)

### 使用楽器

- 桶胴太鼓(二尺)…5台
- 締太鼓(五丁掛け八寸胴)…4台
- 中太鼓(二尺二寸)…1台

桶胴、締太鼓のチューニングはそれぞれ異なり、音の高さでいうと舞台下手から①→③→②→④の順に並ぶ。

また、高いもの同士、低いもの同士でも少しずつ変えている。

桶胴・締太鼓は木製の台に吊るして使用する。

バチはホオの木でできたもので、鼓童では桶太鼓や締太鼓に一般的に使用している。

### プレーヤーのこの曲への想い

「曲ができた当時の映像は今見るとちょっと恥ずかしいですね。最初、かなり早いテンポで始まるのですが、あの頃は調子に乗って叩いていると、あるフレーズになったときに急にテンポが落ちたり…。でも、おもしろかったですよ。いろんな太鼓の打ち方が一通り入っている曲で、この曲をマスターしないとプロと名乗れない、そんな重要な曲だと思います。私にとっては愛着のある曲ですね」(齊藤栄一)



### 演目アーカイブ

#### 千里馬

ちよんりま  
1983年、藤舎呂悦作曲。同年初演。初演当時の編成は、桶胴・締太鼓4パート、中太鼓2パート(この編成は89年まで。現在は中太鼓1パート)。CD収録は、89年「BLESSING OF THE EARTH」(ニール・マズカ)の2006年「Heartbeat Best of KODO 25th Anniversary」(ニール・ミュージックジャパン・インターナショナル)。  
「千里馬」とは、朝鮮の伝説で、一日に千里をかけるという名馬のこと(講談社刊・日本語大辞典より)。この曲は、日本の伝統的なリズムパターンを組み合わせからなる、現代感溢れる作品である。桶胴太鼓という朝鮮系の太鼓を奏者がいかに操り、猛スピードで走れるかが見どころといえよう。  
04年に藤舎氏自身により一部改作された。

#### 藤舎呂悦氏

とよしやえつ  
プロフィール ● 歌舞伎囃子方。幼少の頃より鼓、締太鼓を始め、故四世家元・藤舎呂船・呂秀、両氏に師事。古典歌舞伎はもろろん、テレビ、舞踊、レコードとその活動は多彩であり、またN響、京響、東京フィル、ピアノの小林仁、園田高弘氏らとも共演。諸井誠作曲「有為転変」など、活動は現代音楽にも広がっている。鬼太鼓座の設立当初から太鼓の指導のため、佐渡にも度々来島。「千里馬」、「祭宴」、「狸」を鼓童のために作曲。

## 内田依利、齊藤栄一 「ヨーロッパワークショップツアー」にみる 新たな太鼓の拡がり

北米の最も古い太鼓グループは、鼓童の前身「佐渡の國鬼太鼓座」が海外に出たとき既に存在し、宿泊場所を提供いただくなどの支援から交流が始まった。現在は数百もの団体が集い、2年に1度「北米太鼓カンファレンス」が開催されている。対してヨーロッパでは今、太鼓コミュニティができていく段階で、2016年には「ヨーロッパ太鼓カンファレンス」が初めて開催された。

「始まりを見てみたかったし、その時のエネルギーは今の私たちにとって学ぶことが沢山ある」と、内田依利の発案で『ヨーロッパ太鼓ワークショップツアー』を実施。齊藤栄一とともに1カ月で8カ国をまわり、計400人がワークショップに参加した。内容は初心者から10年以上の経験者でも、全員と一緒に初心に戻って楽しんで学べる、入りやすいものにした。

「ヨーロッパの人たちは純粋に、太鼓に楽器としてどういう力があるのか、カリキュラムにして伝えるのがとてもうまい。だから技術的にはまだまだけど、伸びるのが早いと思います」と、内田。太鼓は日本が発祥だということにリスペクトしてくれているものの、大切にしている自国の文化にうまく太鼓を当てはめ、自分たちの持っているリズムを太鼓でやってみる。それが、自然に行われているのだ。内田と齊藤は、それを斬新に感じたという。

「太鼓がシンプルだから、素直に受け入れられたという感じ。まずメソッドを作って広げていっている。後付けじゃないところがすごい。僕たち日本人にはできないような発展をしていきたいと思います」と、齊藤もヨーロッパの今後に期待する。

ヨーロッパで太鼓を叩くことは、音楽として楽しむのはもちろん、フィットネスであり、アートであり、セラピーでもある。日本や北米の捉え方と違うが、それでもまったく違和感なく、内田も齊藤も「おもしろいなと思った」という。逆に、自分たちの太鼓について気づかされたことが多かったとも。新しい発見の多いワークショップだったのは間違いない。

鼓童は「太鼓の持つ可能性を探していく活動」でもある。今回、内田と齊藤が感じた、ヨーロッパの人たちの太鼓に対する自由な取り組み。「うかうかしてられない」とは、2人の正直な感想だ。

## 「鼓童海外公演×佐渡」が秘める新たな可能性「佐渡祭 in NY」

鼓童のバックグラウンドになっている佐渡。その魅力を世界に届けたい! という想いから、今年3月2日、鼓童のニューヨーク公演に合わせ、マンハッタンにある新潟県のPRコーナーで「佐渡祭 in NY」と題して、

鬼太鼓を中心に佐渡のPRを行った。メンバーは、佐渡(新穂)で専業農家を営む相田忠明氏、佐渡(畑野)出身で東京在住の法務行政書士の藤井健太郎氏、鼓童文化財団の上之山博文の有志3名。佐渡の祭の雰囲気やニューヨークで展開しようと、それぞれの地元の鬼太鼓を少しアレンジしたNYバージョンを披露。店内では佐渡の酒の試飲会や観光パンフレットの配布などを行った。告知期間が短かったが、それでも当日は40~50人ほどが集まった。またニューヨーク市立のハンターカレッジで、レクチャーやワークショップも行った。「今後、ヨーロッパでもやりたい」と、3人は次を目指している。



## 鼓童の会員先行予約について

「幽玄」福岡・京都、「打男」各地の先行予約は6月に実施予定です。別途ご案内(申込書)を送付いたします。

### 鼓童公演

#### 坂東玉三郎×鼓童特別公演 「幽玄」

#### 5/16(火)-20(土) 東京都渋谷区

■ Bunkamuraオーチャードホール  
■ 16日 18:30開演 17日~20日 14:00開演  
■ S席 13,000円、A席 10,000円、B席 6,000円、  
C席 3,000円 ※全席種残席わずか  
■ チケットスペース Tel. 03-3234-9999

#### 5/26(金)-28(日) 新潟市

■ 新潟県民会館  
■ 26日 18:30開演 27日、28日 14:00開演  
■ S席13,000円、A席10,000円、B席6,000円、  
【C席完売】  
■ TeNYチケット専用ダイヤル  
Tel. 025-281-8000

#### 5/31(水)-6/2(金) 愛知県名古屋市

■ 愛知県芸術劇場 大ホール ■ 13:15開演  
■ S席14,000円(1~3階)、A席10,000円(4階)、  
B席6,000円(5階)、【C席完売】  
■ 中日劇場 Tel. 052-263-7171

#### 9/2(土)-18(月) [11(月)休演]

福岡県福岡市  
■ 博多座 ■ 14:00開演  
■ A席16,000円、特B席13,000円、B席10,000円、  
C席5,000円  
■ 7/8(土) チケット発売  
■ 博多座電話予約センター  
Tel. 092-263-5555

#### 9/21(木)-23(土) 京都府京都市

■ ロームシアター京都メインホール  
■ 詳細未定  
■ 南座 Tel. 075-561-1155

#### 鼓童プレミアム企画

#### 「坂東玉三郎がいざなう鼓童の世界」

#### 6/6(火) 栃木県宇都宮市

■ 栃木県総合文化センター ■ 18:30開演  
■ SS席6,000円、S席5,000円、A席4,000円、  
U35席3,000円  
■ 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 文化振興課  
Tel. 028-643-1010

#### 6/7(水) 宮城県仙台市

■ 東京エレクトロンホール 宮城(宮城県民会館)  
■ 18:30開演  
■ S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円  
■ キョードー東北 Tel. 022-217-7788

#### 6/10(土) 岩手県奥州市

■ 奥州市文化会館Zホール ■ 16:00開演  
■ 全席5,000円、高校生以下3,000円  
■ キョードー東北 Tel. 022-217-7788  
■ 奥州市文化会館Zホール  
Tel. 0197-22-6622

#### 6/11(日) 青森県八戸市

■ 八戸市公会堂 ■ 16:30開演  
■ S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円  
■ キョードー東北 Tel. 022-217-7788  
■ 八戸市公会堂 Tel. 0178-44-7171

#### 6/14(水) 北海道札幌市

■ わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)  
■ 18:30開演  
■ 全席5,500円  
■ 道新プレイガイド Tel. 011-241-3871

#### 6/17(土) 山形県酒田市

■ 酒田市民会館希望ホール ■ 14:30開演  
■ 全席5,500円、大学生以下3,000円  
■ キョードー東北 Tel. 022-217-7788  
■ 酒田市民会館希望ホール  
Tel. 0234-26-5450

#### 鼓童「若い夏」

#### 7/2(日) 京都府京都市

■ 京都芸術劇場春秋座(京都造形芸術大学内)  
■ 13:00開演  
■ 一般6,000円、学生&ユース(25歳以下)3,000円  
■ 京都芸術劇場チケットセンター  
Tel. 075-791-8240

#### 7/6(木)-9(日) 東京都台東区

■ 台東区立浅草公会堂  
■ 6日、7日、9日 14:00開演  
■ 8日 11:00、15:00開演 ■ 全席7,000円  
■ チケットスペース Tel. 03-3234-9999

#### 7/11(火) 三重県伊勢市

■ シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢  
(伊勢市観光文化会館)  
■ 18:30開演 ■ S席5,000円、A席4,500円  
■ 伊勢市観光文化会館 Tel. 0596-28-5105

#### 7/15(土) 愛知県みよし市

■ みよし市文化センターサンアート  
■ 14:00開演 ■ 全席5,500円  
■ みよし市文化センターサンアート  
Tel. 0561-32-2000

#### 7/17(月) 富山県黒部市

■ 黒部市国際文化センター コラレー  
■ 14:00開演 ■ 全席5,000円  
■ 黒部市国際文化センター コラレー  
Tel. 0765-57-1201

#### 7/19(水) 岐阜県各務原市

■ 各務原市民会館  
■ 18:30開演 ■ 全席5,000円  
■ 各務原市民会館 Tel. 058-389-1818  
■ 鼓童 Tel. 0259-86-3630

#### 7/22(土) 岡山県倉敷市

■ 倉敷市芸文館  
■ 13:00開演 ■ 全席6,000円  
■ 岡山音協 Tel. 086-224-6066

#### 7/23(日) 愛媛県松山市

■ 松山市民会館 ■ 16:30開演  
■ S席5,500円(1F)、A席3,000円(2F)  
■ デューク松山 Tel. 089-947-3535

#### 7/26(水) 福岡県久留米市

■ 久留米シティプラザ ザ・グランドホール  
■ 18:30開演  
■ S席6,000円(1F/2F)、A席5,000円(3F)、  
B席4,000円(4F)、学生2,500円  
■ ピクニックチケットセンター Tel. 050-3539-8330

#### 7/29(土) 宮崎県宮崎市

■ メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)  
■ 13:30開演 ■ S席5,800円、A席4,800円、  
U-25(25歳以下)3,500円  
■ 宮崎県立芸術劇場 Tel. 0985-28-3208

#### 7/30(日) 鹿児島県鹿児島市

■ 宝山ホール(鹿児島県文化センター)  
■ 17:30開演  
■ 5,800円、学生(小学生~高校生)3,000円、  
おトクシート2枚以上で500円引  
■ 鹿児島音協 Tel. 099-226-3465

#### アース・セレブレーション2017

#### 8/18(金)-20(日) 新潟県佐渡市

#### 「打男 DADAN 2017」

#### 10/3(火) 北海道札幌市

■ 札幌コンサートホール Kitara

#### 10/7(土) 岩手県奥州市

■ 奥州市文化会館Zホール

#### 10/8(日) 青森県青森市

■ リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)

#### 10/12(木) 宮城県仙台市

■ 東京エレクトロンホール宮城

#### 10/14(土) 福島県白河市

■ 白河文化交流館コミネス



## 10/15(日)山形県山形市

シベールアリーナ

## 10/18(水)千葉県習志野市

習志野文化ホール

## 10/21(土)東京都福生市

福生市民会館

## 10/22(日)千葉県旭市

千葉県東総文化会館

## 10/25(水)香川県観音寺市

観音寺市民会館

## 10/28(土)広島県廿日市市

はつかいち文化ホールさくらびあ

## 11/1(水)長崎県佐世保市

アルカスSASEBO

## 11/4(土)福岡県北九州市

北九州芸術劇場

## 11/8(水)京都府京都市

ロームシアター京都

## 11/10(金)-12(日)大阪府大阪市

新歌舞伎座

## 11/18(土)神奈川県相模原市

相模女子大学グリーンホール

## 11/19(日)神奈川県横須賀市

横須賀芸術劇場

## 11/21(火)愛知県名古屋

愛知県芸術文化センター大ホール

## 11/23(木・祝)福井県福井市

ハーモニーホールふくい

## 11/27(月)新潟県新潟市

新潟県民会館

## 11/30(木)新潟県佐渡市

アミュゼメント佐渡

## 12/7(木)埼玉県鴻巣市

鴻巣市文化センター(クリアこうのす)

## 12/9(土)埼玉県越谷市

サンシティ越谷市民ホール大ホール

## 12/13(水)-14(木)神奈川県横浜市

神奈川県立音楽堂

## 12/16(土)静岡県三島市

三島市民文化会館ゆうゆうホール

## 12/17(日)静岡県浜松市

浜松市浜北文化センター

## 12/20(木)-24(日)東京都文京区

文京シビックホール大ホール

### 鼓童交流公演

太鼓の魅力が五感で感じられる舞台です。

## 9/2(土) 14:00 胎内市産業文化会館

## 9/3(日) 14:00 長岡市寺泊文化センター

## 9/23(土・祝) 14:00 西山ふるさと館

## 9/24(日) 14:00 はーとびあ中郷

全席自由 2,000円(当日500円増)

中学生以下 無料(要入場整理券)

チケット発売 胎内6/2(金)、寺泊7/2(日)、

西山 6/10(土)、中郷 6/18(日)

※5歳未満入場不可

公益財団法人 新潟県文化振興財団

Tel. 025-228-3577

### ぶんきょう交流公演

## 9/9(土) 13:30

文京シビックホール小ホール

2,500円(5歳から入場可。小学3年生までは保護者の方の同伴が必要です。)

チケット発売 5/14(日) 予定

シビックチケット Tel. 03-5803-1111

同日「親子で楽しむ太鼓ワークショップ」開催

文京アカデミーホール 事業係

Tel. 03-5803-1103

### ソロ・小編成公演

### 小島千絵子ソロ活動

## 5/27(土) 広島県廿日市市

平清盛生誕900年前年祭 奉納公演

祝 ～はふり～

巖島神社 高舞台

19:00開場 19:20開演 <雨天決行>

前売4,000円 当日500円増し <全席自由>

出演:岩田玲子(フラメンコ)、今井まゆみ(和

太鼓)他 ゲスト出演:小島千絵子

岩田 Tel. 080-3885-3671

今井 Tel. 090-8248-3275

## 5/27(土)-29(月) 広島県廿日市市

小島千絵子「花八丈」合宿 in 広島 宮島

宮島 包ヶ浦自然公園

参加費:42,000円(宿泊、食事、講師料、「はふり」公演チケット代含む) 定員:20名

今井 Tel. 090-8248-3275

## 6/4(日) 滋賀県大津市

大津京遷都千三百五十年記念

万葉集でつづる音楽物語 夕波千鳥

大津市民会館大ホール

13:30開場 14:30開演

前売3,000円、小中学生1,500円 当日300円増し

びわこ大津観光協会・「大津京への道」

実行委員会 Tel. 077-546-7262

大津市民会館 Tel. 077-525-1234

## 6/24(土) 長野県飯田市

第12回幸い下伊那和太鼓フェスティバル  
スーパーショー

飯田市民会館 18:30開場 19:00開演

前売3,000円(5歳～高校生2,000円)

当日500円増し

出演:和太鼓TOKARA

ゲスト出演:梵天 BONTEN、小島千絵子

幸い下伊那和太鼓フェスティバル実行委員会

Tel. 0265-59-8768

### 藤本吉利の全身全霊ワークショップ

## 6/3(土)-4(日) 東京都目黒区

大太鼓編(6/3 15:30-18:00)

鬼剣舞編(6/4 11:00-14:00)

和知太鼓編(6/4 15:30-18:00)

太鼓の里 響和館

受講料:各9,720円/回 定員:12名

太鼓の里 響和館 Tel. 03-3714-2774

## 6/5(月) 石川県白山市

藤本吉利の全身全霊大太鼓講座

浅野太鼓楽器店 新響館2F

時間:19:00～20:30 受講料:4,000円

浅野太鼓楽器店 Tel. 076-277-2771

### ～歌えや囃せや 永song～ 藤本容子コンサート

出演:藤本容子、The Prem～風蓮夢～、磯野正博(マンドリン、ギター、唄)、加藤彰(ベース)、佐藤世子(キーボード)

## 7/7(金) 新潟県佐渡市

大慶寺 18:30開場 19:00開演

前売2,000円 当日500円増し <全席自由>

未就学児参加可

藤本 Tel. 080-5087-1481

## 7/9(日) 新潟県佐渡市

佐渡太鼓体験交流館 14:30開場 15:00開演

前当共3,000円、小・中2,000円、未就学児無料

「鼓童の会」会員2,800円(前売のみ)

<全席自由>

特別出演:藤本吉利、金城光枝(琉球舞踊)、

宮崎正美(鼓童文化財団)

佐渡太鼓体験交流館 Tel. 0259-86-2320

### レナード衛藤 “Leo Classics”

## 9/8(金)、10(日) 京都府京都市

京都FANJ

9/8 19:00開演 9/10 14:30開演

出演:レナード衛藤、藤本吉利、小島千絵子、ほか

京都FANJ Tel. 075-711-0711

## 9/25(月) 東京都渋谷区

TSUTAYA O-EAST 19:00開演

出演:レナード衛藤、小島千絵子、齊藤栄一、ほか

M&Iカンパニー Tel. 03-5453-8899

# 読者の皆様のコーナー

新しい機関誌では読者の皆様に「あるお題」を元に投稿いただくコーナーを設けることにしました！

第1回は12月に実施したアンケートより「鼓童を初めて観たのはいつ、どこで？」というお題へのお答えをご紹介します。

次号からは鼓童メンバーからのお題に対して、投稿いただいたお答えをご紹介します。お気軽に「どどこ」お寄せください！

今月のお題

## いつ・どこで鼓童を初めて観たのは



1981年、池袋サンシャイン劇場 (男性・60代)

鼓童がベルリンでデビューし帰国後まもなく行われた公演。チラシには契約した時点の団体名「鬼太鼓座」が、パンフレットの表紙には「鼓童」が表記されていた。(編集部)

昭和50年頃、佐和田のグランドで。タイトルが「なぜか突然日本海」の公演でした。小島千絵子さんが元気よく飛び回っていたのを今でもはっきり覚えています。(男性・70代)

「SADO MUSIC FESTIVAL '85～なぜか突然日本海」。出演は鼓童のほか、山下洋輔とパンジャアンサンプル、劇男一世風靡、憂歌団ほか。(編集部)



1986年頃、新宿コマ劇場。藤本さんの大太鼓を打ち続ける姿、今でも新鮮によみがえってきます。(女性・80代以上)

新宿歌舞伎町のコマ劇場の地下にあった小劇場「シアターアプル」で、1984年～1999年まで毎年連続公演を開催。'86年は初代代表・故河内敏夫の生前最後の演出となった。(編集部)

1989年、シアターアプル (女性・60代)

このポスター、当時鼓童内では通称「クールファイブ」と呼ばれていた。(撮影：太田順一) (編集部)



1991年、渋谷オーチャードホール (女性・40代)

鼓童結成10周年記念「ギャザリング」公演。鼓童単独、オーケストラとのジョイント、ゲストとのコラボと、3日間異なる内容の公演を行った。(編集部)



1996年、板橋区立文化会館／上越文化会館／メルパルクホール／岐阜瑞浪にて (男女・50～60代)

大太鼓と鼓童の文字を重ねた「鼓童ワン・アース・ツアー」のポスタービジュアルは約3年間使用。各地で好評をいただいた。(編集部)



2006年、文京シビックホール (男性・40代)

鼓童結成20周年の年に行った「鼓童十二月公演」。演出は齊藤栄一。(撮影：峯竜也) (編集部)



●次号、夏号(8月)のお題は

藤本吉利より「あなたにとって"太鼓"とは？」

投稿お待ちしております!

初回にしていきなり深い質問ですが、太鼓の「童」である藤本吉利ならではの話題！深くてもそうでなくても何でも結構です。皆様にとって「太鼓」とはどのような存在か、ぜひ教えてください！

「お名前(もしくはペンネーム)」「住所」「性別」「年代」「お答え」を明記の上、メールもしくはお葉書にて[6月25日(日)]までにお寄せください。なお、お答えいただいた方に抽選で3名様に「藤本吉利サイン入り鼓童手ぬぐい」をプレゼントいたします。

■Email

メールアドレス: heartbeat@kodo.or.jp

タイトルを「鼓童機関誌読者コーナー投稿」と明記の上、お送りください。

■お葉書

〒952-0611 佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村

「鼓童機関誌読者コーナー」係までお送りください。

## 鼓童オンラインストアからのお知らせ



表現の幅が広がるこの太鼓で、担ぎ桶の可能性を広げてみませんか？  
(坂本雅幸)

### ■調律桶太鼓 奏 Kanade

それぞれの面を独立してチューニングすることができる和太鼓はなんと世界初。2015年にはグッドデザイン賞を受賞。「幽玄」公演でも坂本雅幸が演奏に使用いたします。今までにない太鼓の音色をお楽しみください。

販売価格 240,840円(送料別)

### ■「幽玄」公演会場限定商品

鼓童「ふわり」タオルの新色を「幽玄」公演会場限定で100本のみ販売いたします。売り切れ次第終了となります。春らしく、優しい色に仕上がりました。会場での販売をどうぞお楽しみに！

## 永六輔さんへの感謝を表すコンサートと展示を開催

鼓童の生みの親の一人である永六輔さんが2016年7月7日に旅立たれて、間もなく一年。一周忌にちなみ、永さんの歌の世界を皆様と分かち合いたく、7月に佐渡島内2ヶ所で「～歌えや囃せや 永 Song～ 藤本容子コンサート」を開催いたします。また、たたこ館では「永さんと佐渡、鼓童」にちなむ展示も行います。エピソードなどを募集中です。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



## アース・セレブレーション 2017 8/18(金)～20(日)

5/10公式サイトがオープンいたしました。今年は3夜連続、ハーバーマーケットでの鼓童とゲストが織り成すライブなど、更に充実した内容でお届け致します。詳しくはEC公式サイトまたは同封のパンフレットをご覧ください。

<http://www.kodo.or.jp/ec/>

※鼓童の会会員の皆様にはチケット先行予約がございます。



## ISETAN BON DANCE 2017 ～鼓童、伊勢丹新宿店に登場！

日本の文化「夏祭り」をISETAN SHINJUKU流にアレンジ。鼓童の演奏や盆踊りなど楽しい企画を沢山ご用意しています。鼓童と迎える夏、浅草「若い夏」公演の後はそのまま新宿へ。ぜひ、ゆかたでおしゃれをしてお越しください。

- 日時／7月8日(土)、9日(日) 各日18時開場、21時30分終了  
※雨天中止
- 会場／伊勢丹新宿店本館屋上、アイ・ガーデン ステージ  
(JR「新宿駅」東口徒歩5分、東京メトロ丸ノ内線「新宿三丁目駅」徒歩1分)
- 入場料／各日4,000円(税込・フードドリンクチケット付)
- 定員／各日先着600名
- ドレスコード／ゆかた
- お申し込み／6月7日(水) 午前10時より伊勢丹新宿店ホームページで受付。詳しい内容はこちらをご覧ください。

※7月1日(土)、2日(日)にはファッションデザイナー丸山敬太氏とおしゃれなゲストたちによる“おしゃれ盆踊りvol.3” produced by KEITA MARUYAMAを予定しています。(鼓童の出演はありません)



お問合せ／伊勢丹新宿店 03-3352-1111(大代表)(10:30～20:00)

### メンバー短信

- 鼓童準メンバーの宮城紘司は2007年4月からスタッフとして活動しております。また、柳澤美希が新しくスタッフに加わることとなりました。
- 北前船スタッフの松浦充長、松田菜瑠美が8月末日をもって退職することとなりました。残り僅かな期間となりますが、最後まで精一杯努めてまいります。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

今月の付録 ●「鼓童人物名鑑2017」 ●「～歌えや囃せや永song～ 藤本容子コンサート」チラシ ●「アース・セレブレーション2017」パンフレット

# 鼓童の世界

鼓童プレミアム企画

## 「坂東玉三郎がいざなう」

出逢いから17年—圧倒的な魅力を放つ鼓童の数々の演目の成り立ちを、永きにわたり鼓童の創造活動に携わってきた坂東玉三郎が、自らご案内する特別な公演です。進化し続ける舞台の魅力とその秘密を、より深く、そして楽しく存分に体感していただけます。今回は宇都宮から北海道まで、初夏の北国にまいります。いつもより少し足を伸ばして遊びにいらっやいませんか？



6月 ● 公演スケジュール

- 6日(火) 栃木県宇都宮市  
栃木県総合文化センター
- 7日(水) 宮城県仙台市  
東京エレクトロンホール宮城  
(宮城県民会館)
- 10日(土) 岩手県奥州市  
奥州市文化会館Zホール
- 11日(日) 青森県八戸市  
八戸市公会堂
- 14日(水) 北海道札幌市  
わくわくホリデーホール  
(札幌市民ホール)
- 17日(土) 山形県酒田市  
酒田市民会館希望ホール

解説:坂東玉三郎  
出演(演奏):鼓童  
※解説は日本語のみとなります。



鼓童文化財団研究所

## 夏の体験入所

8月9日(水)~11日(金)の2泊3日で、「夏の体験入所」企画を実施します。研修所への応募を考えておられる方、またこの体験入所を通して今後の進路を考えてみようという方が集まり、にぎやかな雰囲気の中で研修所の日常を体験していただけるものです。鼓童メンバーの齊藤栄一による特別ワークショップなど、通常の体験入所にはないプログラムも含まれています。ご参加を心よりお待ちしております。

### 募集人員

約15名 ※先着順(定員となり次第受付終了)

### 料金

8,000円(税込) 宿泊費・食費・島内交通費含む  
(佐渡までの交通費はそれぞれにご負担ください)

### 集合・解散

8/9(水) 両津港集合15時10分  
(12:35新潟発フェリー)

8/11(金) 両津港解散12時10分

(12:40両津発フェリー/13:20発ジェットフォイルに乗船可能)

### 参加資格

高校生以上~ 2018年4月1日時点で25歳以下の方

### 予定する主な内容

- 稽古(研修生の稽古見学=齊藤栄一指導/齊藤栄一による特別ワークショップ/研修生による稽古成果発表/トレーニング・ストレッチの体験など)
- 生活(研修所の日常を体験=食事作りと片付け・掃除・農作業など)
- 関連施設見学(鼓童村=太鼓芸能集団「鼓童」拠点/太鼓体験交流館)

### 応募方法

Eメールまたは郵便で、「夏の体験入所参加希望」と明記の上、名前・年齢・郵便番号・住所・電話番号・国籍・Eメールアドレス・職業(学生の方は学校名と学年)・太鼓の経験(簡略に)をお知らせください。折り返し、参加の可否をご連絡いたします。

### お申込み・お問合せ(できるだけEメールでお願いいたします)

鼓童文化財団研究所(担当:石原 泰彦) 〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1  
Email:kenshujo@kodo.or.jp Tel.0259-81-4100

## 「鼓童塾」について

柿野浦研修所で例年開催している「鼓童塾~齊藤栄一の太鼓篇~」は、今年はこれまでの鼓童塾参加者の皆様を対象とした「同窓会」として開催いたしますので、一般の募集は行いません。何卒ご了承ください。

最新情報は、

ウェブサイト facebook Twitter メルマガ をご覧ください。

鼓童

検索

@KodoHeartbeatJp

@KodoHeartbeat

http://www.kodo.or.jp

鼓童/(株)北前船 Tel.0259-86-3630

■鼓童公演、ソロ・特別編成公演のスケジュール

■公演依頼、ワークショップ講師派遣 heartbeat@kodo.or.jp

■和太鼓などの楽器、CD・ビデオ、鼓童関連グッズ、書籍販売 store@kodo.or.jp

鼓童公演のチケットについて Tel.0259-86-2330

鼓童文化財団 Tel.0259-81-4100

■鼓童の会、研修所資料請求、アース・セレブレーション等

佐渡太鼓体験交流館(たたごう館) Tel.0259-86-2320

■太鼓体験(個人、団体)、見学、貸館、イベント案内

info@sadotaiken.jp 開館時間 9:00-17:00(月曜休館)

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ(月~金 9:30~17:00) Tel.0259-86-3630(代) Fax.0259-86-3631

次号は8月10日の発行を予定しています。新たな季刊「鼓童」、今後とも宜しくお願いいたします。

KODŌ vol. 366

鼓童 2017年5月10日発行(年4回 2月/5月/8月/11月) ©発行/鼓童 〒952-0611新潟県佐渡市小木金田新田148-1  
Tel.0259-86-3630 Fax.0259-86-3631 Email:heartbeat@kodo.or.jp http://www.kodo.or.jp  
©発行責任者/菅野敦司 ©企画・構成/(公財)鼓童文化財団 ©デザイン・編集・印刷/(株)第一印刷所  
©郵便振替/00680-2-13115 鼓童の会 年間購読料3,000円(送料/購読料は会費に含まれます)